

4.4 電子出版の実際

凸版印刷株式会社生産・技術・研究本部
技術企画部課長チームリーダー
細 矢 佳 紀

凸版印刷(株)の企業活動を通じて、印刷産業でのデジタル化・情報化の動きをオーバービューし、情報コミュニケーション産業への変革がどのように行われているのかを、「電子出版関連の現状と将来」という視点で捉えることを目的とする。また、ラボの見学を通じて、新技術の動向や新たな実験的取り組みについてもフォローする。

・電子出版の現状と動向

1. パッケージ系電子出版の最新動向

(1) 出版印刷物の電子化

各分野でのCD-ROM化、DVD化
事辞典、各種白書、パソコン雑誌付録など

(2) 商業印刷物の電子化

通販カタログのCD-ROM化、DVD化

(3) マニュアル類の電子化

コンピュータ周辺機器マニュアルのCD-ROM化、DVD化
アニュアルレポートのCD-ROM化、DVD化

2. ネットワーク系電子出版の最新動向

(1) 出版物のインターネット配信サービス

デジタルコンテンツ配信サービスビジネス
凸版印刷が運営する、出版コンテンツの有料配信サービス「Bitway-Books」
東芝とのコラボレーションによるポータルサービス「フレッシュアイ」
オンラインマガジン「Web 現代」(講談社と)

(2) 商業印刷物のインターネット配信による通販ビジネスの台頭

インターネットによる通販カタログと物流と決済サービスの代行

(3) インターネットによる各種情報サービス

地図をベースにした各種情報サービス「マピオン(MAPION)」
コンテンツホルダーとインターネットサービスプロバイダーを仲介する情報流通
代行サービス「Bitway」
大学・企業・学会・地方自治体の各ホームページ情報サービスサポート

3. パッケージ系とネットワーク系の融合

(1) メディアミックス

書籍・雑誌とCD-ROM、インターネットの組み合わせ

・インターネット関連の最近の動向

1．インターネット情報検索サービスの向上

情報検索サービスの合併会社「フレッシュアイ」の設立

2．インターネット・ホスティングサービス

イメージサーバー、レンタルスペースサービス

マーケティングやEC関連などのビジネス機能を提供するサービス

3．インターネット通販の高まり

書籍販売におけるインターネットの利用（米国での「アマゾン・ドット・コム」）

大手書店、大手書籍流通、大手物流が展開する各種「インターネット書籍販売サービス」

セキュリティの確保と決済機能

著者と読者の距離の縮まり（著者、出版社、取次店、書店、読者の関係の最適化）

・デジタルアーカイブに関する最近の動向

1．画像デジタルデータのアーカイブ化の動き

印刷会社自体が巨大なデータベース産業に変化しつつある

写真・文字・レイアウト情報のみならず音声や動画などマルチメディアデータの取り扱い

印刷物への利用はもちろんのこと、インターネットへのデータ再活用のニーズの高まり（ワンソース・マルチユースの実現）

2．デジタル美術館・博物館

超高精細デジタルデータのアーカイブと館内常時検索閲覧可能なシステムの開発（国立西洋美術館などに納入）

・バーチャル・リアリティ・ラボラトリーの見学

・視聴から体験する時代へ、マルチメディアの可能性をさらに追求したバーチャルリアリティの最先端ラボラトリー「VRラボ」の見学